



京都市立伏見南浜小学校 校長 三上 美香
TEL 075-611-0091 FAX 075-611-5107
minamihama-s@edu.city.kyoto.jp

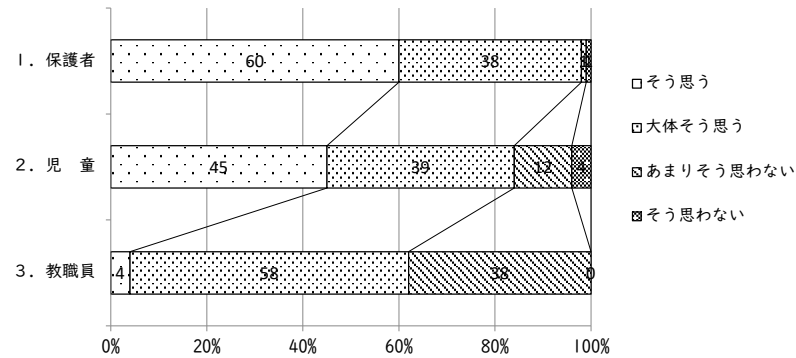


令和7年度 伏見南浜小学校 第1回学校評価 アンケート結果と考察

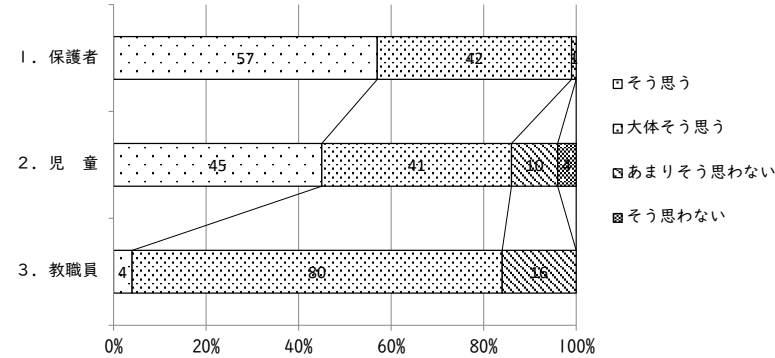
第1回 学校評価アンケート結果について

7月に行った学校評価アンケートでは、260件近くの保護者の方々からの回答をいただき、ありがとうございました。さて、本年度の第1回目の学校評価アンケートは、昨年度に行ったアンケートとほぼ同じ内容でアンケートを実施しましたが、一カ所⑧の項目では、「自己肯定感」に関わる内容でアンケートを実施しております。また、自由記述欄では、「お子さんに身につけてほしい力」「そのためにご家庭で取り組まれていること」について、ご意見を

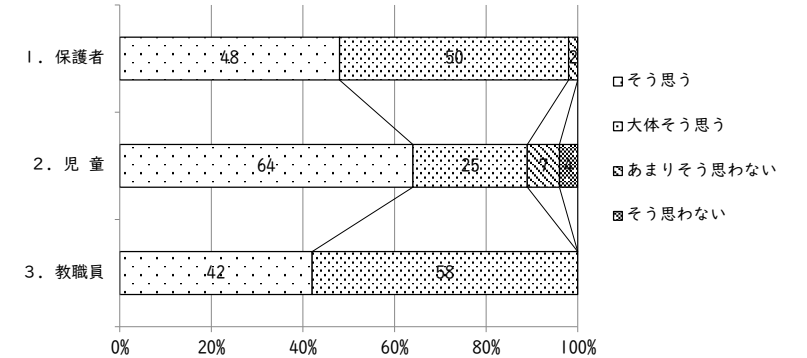
- ① 1. 我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている。
2. じぶんからすすんで、あいさつをしている。
3. 子どもが自分から進んであいさつできていると思う。



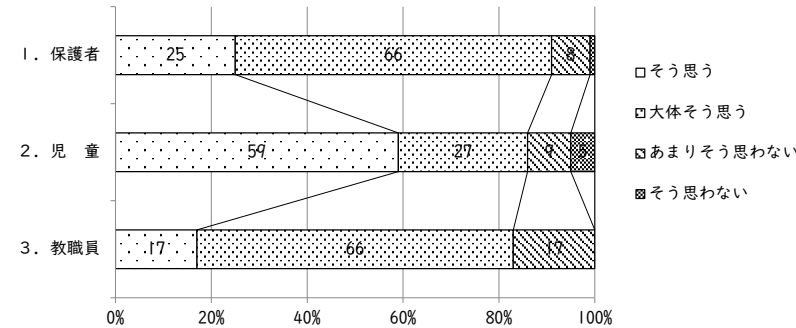
- ② 1. 我が家では、子どもに、自分の気持ちを言葉で伝えるように促している。
2. じぶんのきもちをあいにてわかるように、ことばでつたえることができている。
3. 子どもが自分の気持ちや考えを言葉などで表現できていると思う。



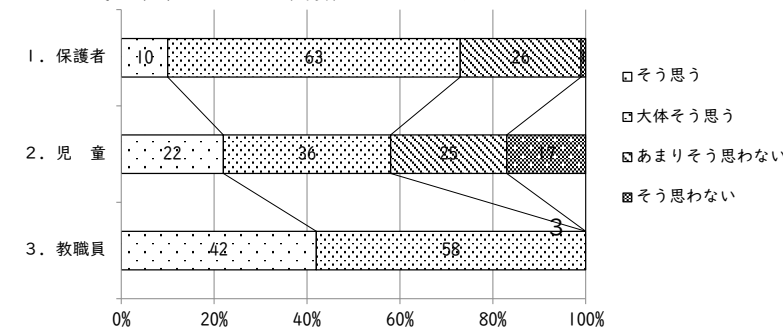
- ③ 1. 我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。
2. おうちでは、がんばったことをほめてもらえる。
3. 子どものよさを認め、ほめている。



- ④ 1. 我が家では、子どもの交友関係を把握している。
2. おうちでは、ともだちのことをよくはなしている。
3. 子どもの交友関係を把握している。



- ⑤ 1. 我が家では、丁寧な言葉で子どもと会話をしている。
2. おうちでは、ていねいなことばでおはなしをしている。
3. 丁寧な言葉で子どもや保護者と話している。



学校教育目標として、

「自ら人とつながり 学びとつながる力の育成」

を掲げております。

ICTやデジタルを有効活用しながら、人との関わりや繋がりも大切にし、大きく成長してほしいと考えております。

学校HPも、ぜひご覧ください →



1. 生活面

①「あいさつ」は、本校が掲げている『伏見南浜小学校のみんなで大切にしたい4つの【あ】「あいさつ」「あさごはん」「あんぜん」「ありがとう』の一つです。「我が家では、進んで挨拶するように声かけをしている」というアンケート項目に対し、昨年度の1回目の数値と比べると、保護者の方からの「そう思う」が48%から60%へと増加していました。お家で挨拶に対する声かけを積極的にしていただいていることが伺える結果となりました。今年度、本校の学校教育目標の中に、『自ら人とつながり』というフレーズがありますが、周囲の方々と関わる際に、挨拶はとても大事なコミュニケーションツールの一つであると考えております。学校生活においても、今一度、挨拶をする気持ちよさや挨拶をしてもらった時の嬉しさについて子どもたちと話し合い、その大切さを共有していきたいと思ひます。

②「気持ちを伝える」については、児童・保護者の方の捉え方と教職員との捉え方に少し差が見られました。教職員は、クラス全体・学校全体の児童をみて評価しているので、少数でも気持ちを伝えることに課題がある児童が見られた場合、「そう思う」と全ての児童を肯定する回答はしにくいのだと思われます。また、保護者の方の「気持ちを伝える」ことが大切と感じ、そうするよう促しておられる実態とは少し異なり、まだまだ十分に気持ちを伝えきれていない、と感じている児童が14%存在する結果となっていました。自分の思いや考えを表現する力は、それが求められている現代において、必要不可欠な力であると考えられています。一人一人の子どもたちが、臆することなく自分の思い・考えを主張できるよ

③お子さんのよさを認め、ほめているかをお聞きしたアンケートですが、保護者の方や教職員がお子さんに対してそれを感じているよりも、「ほめてもらえている」と感じている子どもたちが多いという結果になりました。その半面、「あまりそう思わない・そう思わない」と感じている子たちも1割程度見られます。「人に褒められたい、認めてもらいたい」という承認欲求は、「他者から称賛されたい」という欲求と「他者の評価から自立し、自分を承認できる」という欲求に分かれるそうです。前者の欲求が満たされていないと後者の欲求を満たすことは、なかなかできません。自己肯定感が高まると何事にも積極的に取り組むことができる、また、失敗してもその失敗を生かして、次の挑戦に進みやすいなどと言われています。学校でも引き続き保護者の皆様と協力して、子どもたちのよさを見つけ、それを認め、伝えていきたいと思ひております。

④子どもたちの交友関係に関する質問については、保護者の方、教職員の感じ方と、子どもたちの思いとに少し差が見られる結果となりました。子どもたちは、自分の友達のこと、学校での出来事について、お家で十分に伝えていっていると思ひながら、それを受け取る側は、まだまだ子どものことをたくさん知りたい、知っておきたいと思ひられている様子も伺えます。成長とともに、自分のことをあまり周囲に話さなくなる姿も見られますが、成長していく過程において、ごく自然なことでもあります。時には、一歩引いたところから、お子さ